

invested in insights.

eastspring  
investments

A Prudential plc (UK) company



# イスラエル・ハマス紛争が 意味するもの

Market update

最新の市場動向(10月11日)を見る限り、市場はまだ今回のイスラエル・ハマス紛争を大きなリスクや本格的な戦争とは見なしていない模様です。

地政学的危機の力学と結果を予測することは不可能ではないにせよ困難を極めますが、当紛争が現時点ではまだ中東情勢を巡る他の主要国に及んでいないという重要な前提のもとでは、当紛争は現時点においては市場へのインパクトは穏やかな“局地的なもの”となっています。

イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相が『これはイスラエルにとっての9.11』と言及した今回のイスラム組織ハマスによるパレスチナ自治区ガザ地区からイスラエルへの奇襲攻撃は、10月7日(土)の朝(現地時間)に発生し、イスラエル政府はその直後に応戦しハマスに対して『宣戦布告』を発表しました。

イーストスプリングでは私たちの思いと祈りが、壊滅的な被害を受けた人々に届くことを願っています。

## 市場の動き

10月9日(月)、イスラエルとハマスの紛争が3日目に入り、CBOEボラティリティ指数(VIX)は一旦は上昇原油価格は4%以上(1バレル86米ドルまで)上昇しました。株式市場では、今回の攻撃を受けて欧州域内の石油供給への懸念が高まり、欧州株は下落(欧州主要銘柄で構成されるユーロ・ストックス50指数は米ドルベースでマイナス1.17%)して取引を終えました。

米国市場は比較的平穏(S&P500種株価指数はプラス0.63%)で、S&P500種株価指数の主要11セクター全てが上昇しました(特にエネルギー・セクターが牽引)。10月9日(月)は米国の祝日(コロンバス・デー)でしたが、前週の6日(金)には市場予想を上回る雇用統計の結果を受け、米国債利回りは上昇を続け、米10年債利回りは4.8%、30年債利回りは5.0%を一時的に超えました。アジアおよび新興国の株式市場はそれぞれ0.20%の下落を記録しました(MSCI ACアジア(除く日本)指数およびMSCI新興国株式指数ともに)。またイスラエル債券と同国通貨であるイスラエル新シケル(対米ドル)はそれぞれ2%\*、2.5%下落し、近隣諸国(レバノン、エジプト、ヨルダン)の債券は0.5~1.5%下落しました。

\* 10月5日との比較

その後、本稿執筆時点(2023年10月11日(水))では、原油価格は比較的落ち着きを取り戻しています。10月10日(火)は米国、欧州、新興国、アジアの株式市場は上昇しました。一方、米国債の利回りは米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げを終了するとの観測から低下しました。

## 私たちの考察 (2023年10月9日(月)時点)

イスラエル・ハマス紛争はまだ初期段階にあり、状況は刻々と変わっているため、本レポートにおける私たちイーストスプリングの投資チームの考察はあくまで現在入手可能な情報に基づいています。

10月9日(月)の市場の動きを見る限り、市場はまだこの紛争を“大きなリスクイベント”、あるいは“本格的な戦争”としては織り込んでいない模様です。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※ご留意いただきたい事項を最終ページに記載しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

231012 (03)

## invested in insights.

地政学的危機の力学と結果を予測することは不可能ではないにせよ困難を極めますが、紛争が中東情勢を巡る他の主要国に及んでいないという重要な前提においては、当紛争は現時点では市場へのインパクトは穏やかな“局地的なもの”と言えそうです。しかし今回のハマスの動きへのイラン関与の疑いは、まだ完全に払拭されておらず、これは注視すべき重要な事項であり続けています。イランが関与する可能性のある紛争は、これまでも世界で最も重要な石油の『チョークポイント』(輸送航路の要衝)のひとつであるホルムズ海峡にそのインパクトが及ぶため、イランの関与が明らかになった場合には、石油供給が非常に大きく損なわれることは間違いありません。

原油価格は地政学的紛争に敏感であることから、原油価格のボラティリティは今後注視すべき重要なポイントです。地政学的対立の激化に伴い、石油供給が大幅に途絶する可能性は、その頻度や規模を含めて高まっており、原油価格のボラティリティをさらに高める要因となっています。10月9日(月)の原油価格の4%の上昇は、注目すべき値動きではあるものの、過去の標準偏差からみると、それほど大きな値動きではありません。現在の主要経済国の石油への依存度は過去に比べると低下していますが、石油市場は引き続き不安定であり、予断は許しません。

## 投資への影響

情勢がさらに悪化し、原油価格が大きく動けば、世界の主要中央銀行の利下げへの障害となり、投資家のリスクオフの心理が増幅する可能性があります。

このような場合、私たちのマルチ・アセット・ポートフォリオ・ソリューションズ(MAPS)チームは、先行き不透明なマクロ環境を反映し、グローバル株式やハイ・イールド・クレジットを含むリスク性資産への『オーバーウエート(強気)』を3か月間のハウスビュー(組織としての公式見解)で弱める可能性があります。一方、米ドルは利回りが高いだけでなく、リスクオフ資産としての特性もあるため、現在はより魅力的にみえています。中期的な視点(12か月間)では、MAPSチームは、そのハウスビューに沿って、株式や社債などのリスク性資産を『アンダーウエート(弱気)』とし、国債や米ドルを選好することで、ポートフォリオをディフェンシブなポジションにすることでしょう。

私たちの債券チームも、投資家心理は引き続き慎重であると予想しています。グローバル・エマージング・マーケット債券運用のポートフォリオでは、イスラエルとその近隣諸国への直接的な債券エクスポージャーについては引き続き警戒しています。その他の中東地域については、貿易ルート(ホルムズ海峡、スエズ運河、バブ・エル・マンデブ海峡、SUMEDパイプライン\*)に支障が生じない限り、エネルギー価格の上昇は石油輸出国、特に投資適格および信用格上げ候補国(サウジアラビア、カタール、アブダビ首長国、オマーン、クウェート)にとってプラスに働くかと予想しています。

\* スエズ湾と地中海をつなぐパイプライン

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### <当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)が作成した資料をもとに、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業や業種・テーマに言及することがありますが、当該企業の株式や業種・テーマについて組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。○抄訳には正確性を期していますが、必ずしもその完全性を担保するものではありません。また、必ずしも原資料の趣旨をすべて反映した内容になっていない場合があります。